

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども支援ルーム ここにこ		
○保護者評価実施期間	令和 6 年 12 月 10 日		～ 令和 7 年 1 月 17 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	令和 6 年 12 月 19 日		～ 令和 7 年 1 月 17 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 1 月 23 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動内容をチームで話し合い、検討をすることが出来ている。	・毎週木曜日に翌月の活動内容についての話し合いをする時間を設けている。 ・毎週火曜日に翌週の細かな内容（流れやねらい・準備物など）についての話し合いをすることが出来ている。	・話し合いに参加が出来なかったスタッフにも、十分な共有が出来るよう取り組んでいく。
2	・少人数（～6名程度）のお子さんに対し、職員が3～4名が配置されているため、お子さんの小さな変化やトラブル等にもすぐに気付くことができ、個々に応じた対応をすることが出来る。	・お子さんとスタッフの距離も近く、言動や表情から変化に気づけるよう心掛けている。 ・変化やトラブル等があった場合は、職員が答えを出すのではなく、お子さんと一緒に考えたり、待つことを意識して関りを持っている。	・引き続き、現状の環境を作っていくことと、関わり方を継続して行っていく。
3	・職員一人一人が明るくお子さんや保護者とのコミュニケーションをとることが出来ている。	・ご利用対象が2歳児～5歳児なので、楽しい雰囲気・安心できる雰囲気づくりを心掛けている。	・引き続き、お子さん・保護者の方が楽しく・安心してご利用いただける環境づくりを心掛けていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者同士のコミュニケーションが取れる機会を作ることが出来ていない。	・実施できる体制や時間の確保が出来ていない。	・人員体制や時間、場所の確保・検討 ・職員のスキルアップ
2	・ダイナミックに体を動かすことが難しい。	・一軒家であり、活動スペースが限られている。	・戸外（公園など）へ行き、活動をする機会を増やす。 ・場所（体育館などの公共施設）を借りることを検討していく。
3			